JAID/JSC 感染症治療ガイド 2014 正誤表

記載に誤りがありましたので、下記のように訂正させていただきます。

2016年4月

JAID/JSC 感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会

P106「WI呼吸器感染症, A-2 院内肺炎 3 Definitive Therapy 多剤耐性の場合」

誤

CL: 5mg/kg・1 回ローディング、その <u>4</u>時間後に<u>以下の維持用量を8時間ごとに投与開始</u> する

 $5 \times [(1.5 \times \text{CLcre}) + 30] \text{ mg}$

正

CL: 5mg/kg・1回ローディング、その24時間後に<u>以下の維持投与を開始する</u> $2.5 \times [(1.5 \times \text{CLcre}) + 30] \text{ mg}$ を-日量として12時間ごと、または8時間ごとに分割投与

P226「XⅡ性器感染症, B-1-2 骨盤内炎症性疾患の治療 2 Definitive Therapy 骨盤内放線菌症の場合」

誤

PCG 点滴静注 1 回 1,000~2,000 万単位・1 日 4 回・ 4~6 週間

正

PCG 点滴静注 1 回 <u>300 万~500 万単位</u>・1 日 4 回・4~6 週間 その後 AMPC 経口 1 回 500mg・1 日 3 回・3~6 か月間

P312「XVII 耐性菌,ブレイクポイント,PK-PD-表 XVII-10 腎機能別の抗菌薬投与量の目安」

誤

AMPC 血液透析 (HD) 1回 <u>1~2g</u>・1 日 1~2 回 HD 日は HD 後

正

AMPC 血液透析(HD) 1 回 <u>250mg・1 日 1 回</u> HD 日は HD 後

以下は「第1版(第2刷)」(2015年2月6日発行)以降では修正済

P43「III 細菌性髄膜炎 D 院内発症髄膜炎-1 Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤

β-ラクタム系薬-第一選択

DRPM <u>静注または</u>点滴静注, 1 回 40mg/kg・1 日 3 回 (最大 3g/日)

正

β-ラクタム系薬-第一選択

DRPM 点滴静注, 1回 40mg/kg・1 日 3回 (最大 3g/日)

P197「X 皮膚軟部組織感染症-O ガス壊疽-1 Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤

第一選択

DRPM 点滴静注 1 回 1g・1 日 3 回・診断確定まで(添付文書最大 <u>1.5g/日</u>)

正

第一選択

DRPM 点滴静注 1 回 1g・1 日 3 回・診断確定まで(添付文書最大 <u>3g/日</u>)

P204「XI 尿路感染症 A-1 急性単純性膀胱炎 (閉経前) - Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤

第一選択

TFLX 経口1回 300mg・1日2回・3日間¹⁾

正

第一選択

TFLX 経口 1 回 150mg・1 日 2 回・3 日間¹⁾

P206「XI 尿路感染症 A-4 複雑性膀胱炎(カテーテル非留置症例) Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤

第一選択

TFLX 経口1回 <u>300mg</u>・1日2回・7~14日間

正

第一選択

TFLX 経口1回150mg・1日3回・7~14日間

P207「XI 尿路感染症 B·1 急性単純性腎盂腎炎(思春期~閉経期の女性) Empiric Therapy-推奨される治療薬・軽症・中等症の病態」

誤

第一選択

TFLX 経口1回 300mg・1日2回・7~14日間²⁾

正

第一選択

TFLX 経口 $1 = 150 \text{mg} \cdot 1 = 3 = 10 \cdot 7 \sim 14 = 10 \cdot 10^{2}$

P210「XI 尿路感染症 B-4 複雑性腎盂腎炎(カテーテル非留置症例) Empiric Therapy-推 奨される治療薬 軽症・中等症の場合」

誤

第一選択

TFLX 経口 1 回 300mg・1 日 2 回・7~1 4 日間²⁾

正

第一選択

TFLX 経口 1 回 150mg・1 日 3 回・7~1 4 日間²⁾

P218「XI 尿路感染症 G-1 小児の上部尿路感染症- 推奨される治療薬-乳児期以降-2 Definitive Therapy 」

誤

ST 合剤経口 1回 <u>5mg(TMP として)</u>/kg・1 日 2 回(生後 2 か月未満は禁忌)

正

ST 合剤経口 1回 (TMP として) $4\sim 6$ mg/kg・1 日 2回 (生後 2 か月未満は禁忌)

P219「XI 尿路感染症 G-1 小児の上部尿路感染症-VUR を有する患者 」

詚

ST 合剤経口 1回 0.01~0.025g/kg・1 日 1 回 (就寝時)

正

ST 合剤経口 1回 (TMP として) 2mg/kg・1 日 1回 (就寝時)

P219「XI 尿路感染症 G-2 小児の下部尿路感染症-Empiric Therapy-推奨される治療薬」

誤

ST 合剤経口 1回 50mg/kg (TMP として 10mg/kg)・1 日 2回

正

ST 合剤経口 1回 (TMP として) 4~6mg/kg・1日2回 (生後2か月未満は禁忌)

P249「XIV 眼感染症 E 細菌性角膜炎-推奨される治療薬-塗抹・検鏡ができない場合-全身投与-小児」

誤

DRPM 点滴静注 1 回 20mg・1 日 3 回

正

DRPM 点滴静注 1 回 20mg/kg・1 日 3 回

P249「XIV 眼感染症 E 細菌性角膜炎-推奨される治療薬-塗抹・検鏡 (グラム染色) 像がある場合-全身投与-小児」

誤

DRPM 点滴静注 1 回 <u>20mg</u>・1 日 3 回

규

DRPM 点滴静注 1 回 <u>20mg/kg</u>・1 日 3 回